

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～



サンタさんがやってきた

保育所とこども館に、サンタさんとトナカイさんがプレゼントを届けにやってきました。

箱の中には可愛らしいサンタのケーキが入っており、子どもたちは大喜びでおやつにいただきました。

これは2年前から、近藤グループ（株）近藤組、（株）コンドー興産、（株）H&M）さんが地域貢献活動の一環として、取り組まれているものです。

素敵なプレゼントをありがとうございました。



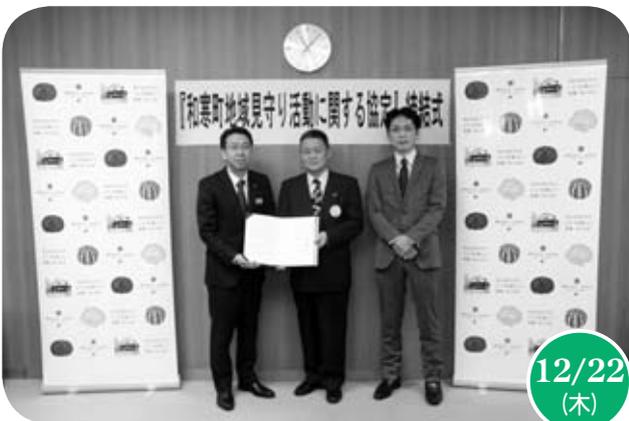
スキーシーズン開幕！

東山スキー場が12月10日にオープンしました。

昨年より2週間ほど早いオープンとなり、地元の子どもたちも待ちに待ったスキーシーズンに大はしゃぎです。

オープン初日から家族連れなど町内外から多くのご利用をいただきありがとうございます。

3月20日までオープンしていますので、皆さまぜひご利用ください。



新聞配達員が見守り

旭川地方道新会名寄士別地区会（橘清光会長）と和寒町は、「地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

この協定の締結により、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、会員販売所である（株）北海道新聞大畑販売所の従業員が配達時や集金時に「郵便受けに何日も新聞がたまっている」「家から異臭や異常な音がする」「倒れている」等、緊急な支援が必要な場合に、警察や関係機関へ連絡をしていただけるようになりました。



和寒町の未来を考える会

和寒中学校2年生は、奥山町長を教室に招いて町の課題や活性化策についてプレゼンを行いました。「遊具の設置など町内の公園の整備」「人口減少を防ぐ子育て環境の充実」「空き地・空き店舗の有効活用」などについて班ごとに発表し、奥山町長は、「ほとんどの人が高校進学で町を出ることになるが、戻ってもらえるようにするのが私の仕事。和寒出身だと誇れる町にしたい」と町政への思いを語りました。真剣に町長の話に耳を傾け、これからの町づくりについて考えている生徒の姿がとても頼もしく映りました。

1/8
(日)



110番通報訓練

町交通安全少年隊13名が参加し、「110番の日」通報訓練がおこなわれました。

和寒駐在所の長井所長と藤村巡査長の指導で、不審者に声をかけられたとき等の通報訓練、土別警察署の三谷巡査部長の指導で、事件が起きたときに警察の鑑識がおこなう指紋と足跡採取の体験学習をおこないました。

長井所長は、「交通事故や事件はどこで起きるかわかりません。現場を目撃したときは、今回の訓練を思い出して、あわてず110番通報してください」と熱心に指導していました。

1/13
(金)



カレンダーリサイクル市が大盛況

社会福祉協議会が毎年実施している「カレンダーリサイクル市」が、保健福祉センターで開催されました。

町民から寄贈されたたくさんのカレンダーや手帳などの格安販売に、開場と同時に約100名の来場者が訪れ、お気に入りの一品を購入したあとは、ボランティアクラブ手作りの豚汁とおにぎりをおいしくいただいていた。

この事業の益金は、2年に1回の映画上映に活用されています。



12/26~28
(月~水)

わかるって、楽しい

12月26日(月)から28日(水)の3日間、小学校では4~6年生を対象に「冬休みサポート教室」、中学校では「冬季休業学習会」、教育委員会では公民館を会場に1~3年生を対象に「ステップアップ冬休み教室」が開催されました。この「ステップアップ冬休み教室」は、今回で2回目となり学習習慣の定着と基礎基本の定着を目的に実施しました。参加した16名の子どもたちは、開始時刻前からドリルに取り組んだり分からないことを友達に聞いたりして各々の課題に意欲的な態度で取り組んでいました。

3学期は、この取り組みの成果を生かし大いに頑張ってくれることを期待しているところです。



1/8
(日)~

スキーって、楽しい

教育委員会主催の「和寒東山ジュニアスキー教室」を保育所年長児と小学1年生を対象に1月8日から合計4日間、昼の部と夜の部に分けて開催しました。

参加した38名の子どもたちは、指導員から安全でいねいな指導を受け、スキーの技術を学びメキメキと上達。

「上手も滑れるようになってうれしい」と喜びの声が上がっていました。